

氷上中のミッション

1 確かな学力の育成

※「授業が分かりやすくよく理解できる」と回答した生徒を 80% (R01 は 69%) 以上にする。

※「教師は楽しく分かる授業を行っている」と回答した保護者を 85% (R01 は 79%) 以上にする。

- ① 授業に「学びあい」の活動を取り入れ、必ず「振り返り」を行うようにする。
- ② 「ひょうごがんばりタイム」では3年生を対象に2学期から英語と数学の基礎的な学習を実施する。家庭学習で行う課題についても検討する。
- ③ 1人1台のPC導入に備え、電子黒板、書画カメラ、デジタル教科書を使用した授業の在り方を研究し実践する。
- ④ 「学習評価を通じた授業改善研究事業」により定期テスト(期末テスト)や小テスト、単元テスト、実力テストなどをどのように学習評価に生かすのか研究を推進する。

2 生徒と教師の居場所づくり

※不登校生徒の出現率を R01 : 3.4% (16人) から R02 : 1.7% (8人) に半減させる。

- ① 生徒の居場所づくりを進め、不登校生徒を出さない学校づくりを進め、「学校へ行くのは楽しい」と回答した生徒の割合を 85% 以上にする。(R01 は 72%)
- ② 不登校生徒に対しては、不登校担当教員を中心に組織的計画的に対応するとともに迅速正確な初期対応を行う。
- ③ SNS 等に対応した情報モラル教育を実施する。1年生は、年度の初めに PTA とタイアップして「情報教育モラル講座」を実施する。6月に全校生徒対象の「情報教育モラル講座」を実施する。

3 生徒に向き合う環境づくり

※学校の業務改善に組織的に取り組んでいると回答した教職員の割合を 85% 以上にする。

※働きやすい職場であると回答した教職員の割合を 85% 以上にする。

- ① 「学校ルールブック」の活用など学校業務改善を進め、働き方改革に取り組み、「GPH50」を活用した取組を進め業務改善を図る。
- ② 職員会議のペーパーレス化や共有ホルダーの活用に取り組む。
- ③ 職員会議と職朝の時間短縮を図る。

4 信頼される開かれた学校づくり

※学校だよりやホームページで「行事や生徒の様子がよくわかる」の回答が 90% 以上にする。

※教育課程(中間テストの廃止、評価の在り方等)について理解を図るリーフレットを作成して保護者への周知を進める。

- ① 毎月「氷上中だより」を発行するとともに週に5回は「校長室の窓」を中心にホームページの更新を行う。
- ② 昨年度に続き第2回の熟議を開催する。学校運営協議会委員の選考を行い、学校運営協議会を設置し、本年度内にコミュニティ・スクールを設置する。
- ③ 新学習指導要領を踏まえ、昨年度に見直した教育課程(中間考査、家庭訪問、個人懇談会の廃止など)の評価検証を行い改善を図る。